

会員各位

2022年11月4日

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

会長 足立征三郎

第111総会開催通知

†主の平和

新型コロナ感染予防対策の影響が続く状況の中、2020年2月開催第106総会以降、第110総会まで感染対策により書面開催となり、会員の皆さまと直接にお会いすることが出来ない状況にありました。第111総会は書面開催とはせず、対面開催として準備を進めています。ご出席くださいますようお願いいたします。

2022年度は継続して「響き合うBSAのために」と再スタートしましたが、2020年・2021年と同様、感染拡大防止の影響により大幅な活動休止となりました。予定された事業計画（青少年キャンプ・BSAセミナーなど）の殆どが中止・休止・延期となり残念な結果となりました。

定例の理事会開催も、2020年9月からZOOM開催が続きましたが、今年2022年6月から様子を見ながら対面で開催しております。

特別委員会は、長い中断の後、2021年10月より7回の委員会がもたれ、課題・提言の整理、現定款との乖離、BSAパンフレット改訂等、改善提案すべき内容を議論し理事会へ答申がなされた。委員会は、第111総会后任期満了に伴い解散となります。

VISIONの発行は滞ることなく、会員、関係者の方々にお届けすることが出来ました。編集・発行に携われた方々にたいし、その努力と行いに感謝します。

「信徒叢書」は、2021年度に14年振りに「聖書の心と茶の心：高橋宏幸主教著」「ウィリアムズ主教に学ぶ：松平信久著」「神の教会・わたしたちの教会：加藤博道主教著」の3冊を発刊し、2022年度には「聖公会 はじめの一步：市原信太郎司祭著」を新たに発刊できました。2023年度は「キリスト教と科学（仮）：西原廉太主教著」が予定され更にもう一刊発行します。このことは大変嬉しく関係者一同喜んでおります。

公祷が再開され、各教区・教会に従来の姿が戻ってきたように感じます。教会の諸活動の働きが静かに始まっています。BSAの活動も動き始めました。感染予防に十分対処しつつ、11月26日（土）第111総会をご案内の通り開催と致します。

ご出席のほど よろしくお願いいたします。

第 111 総会・記念礼拝聖餐式 ご案内

日時： 2022 年 11 月 26 日(土)

13:00 ～ ・記念礼拝聖餐式

司式： 司祭 下条裕章 師 (本部チャプレン)

説教： 司祭 下条裕章 師 (本部チャプレン)

・入会式・再宣誓式

司式： 司祭 下条裕章 師 (本部チャプレン)

会場： 聖アンデレ主教座聖堂

東京都港区芝公園 3-6-18

教会では、コロナ感染症防止策を徹底させて、礼拝を行います。体調のすぐれない方、体温が 37.5℃以上の方はご出席をご遠慮下さい。ご出席の方はマスクの着用をお願いいたします。

礼拝は、聖アンデレ教会のホームページで映像と音で同時配信されます。聖アンデレ教会のホームページ <http://www.st-andrew-tokyo.com/web/> の最下段「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝を こちら で配信しています」の「こちら」の所をクリックすると同時配信の画面につながります。(配信がされていないときは聖堂の静止画像になります。)

第 111 総会： 記念礼拝(聖餐式)後引き続き開催 (14:30 頃)

開催会場： 聖アンデレ主教座聖堂

報告： 2022 年度 (2021. 12. 1. ～2022. 11. 30.) 事業活動 中間報告

議案： 第 1 号議案：2023 年度 (2022. 12. 1. ～2023. 11. 30.) 事業活動計画 (案)

承認の件

第 2 号議案：2023 年度 (2022. 12. 1. ～2023. 11. 30.) 会計収支予算 (案)

承認の件

懇親会は休止します

同封の返信はがきに必要事項記入のうえ、ご返送くださいますよう、よろしくをお願いいたします。ご返送は、出欠集計の都合上 11 月 24 日(木)までに投函をお願いいたします。

なお、会費未納の方は 2023 年度会費と合わせてお振込み頂きたく、よろしくをお願いいたします。

第111総会

2023年（令和5年）度

自2022年12月1日 至2023年11月30日

2022年度 事業活動中間報告

2023年度 事業活動計画（案）

2023年度 会計収支予算（案）



開催日：2022年11月26日（土）

開催会場：聖アンデレ主教座聖堂
東京都港区芝公園3-6-18

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

第 111 総会次第

2022年11月26日(土) 記念礼拝後
港区芝公園 3-6-18 聖アンデレ主教座聖堂

司会進行：() 理事)

I. 開会祈祷： 本部チャプレン

II. 総会成立定数の確認： 事務局

III. 会長開会挨拶： 会長 足立征三郎

IV. 議長選出： 定款第16条により「総会の議長は会長がこれにあたる」

V. 書記任命： ()

VI. 議事録署名人の任命 ()

VII. 報告事項

1. 2022年度(2021.12.1.~2022.11.30) 事業活動(中間) 報告

VIII. 議事

第1号議案：2023年度(2022.12.1~2023.11.30) 事業活動計画(案)
承認の件

第2号議案：2023年度(2022.12.1.~2023.11.30) 会計収支予算(案)
承認の件

IX. 閉会祈祷： 本部チャプレン

1 報告

2022 年度事業活動中間報告 (案)

自：2021 年 12 月 1 日 至：2022 年 11 月 30 日

響きあう BSA のために

2022 年度事業活動状況は、2020・2021 年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な活動休止となった。

こうした状況下、2021 年度に長らく発行が途絶えていた信徒叢書を 14 年ぶりに発行出来、2022 年度も引き続き新たな信徒叢書を発行出来ました、嬉しいかぎりです。

また、秋 (10/8) には BSA セミナーが開催された。2020 年 10 月、日本聖公会第 65 総会において「日本聖公会法規の一部改正する件」(宣教協働区伝道教区 決議第 11 号) が可決され、11 教区を 3 つの宣教協働区に分け協働関係を深めていくことになった。宣教体制の立て直し、教区の統合や再編が主教会に託された。BSA はそのことへの理解を深めるため、全国的な規模で「BSA セミナー」を ZOOM 方式により開催することが出来た。

その他の事業活動計画については、これまでに実施したものを報告します。

* (見出しのローマ数字は、2022 年度事業活動計画 に対応している。)

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」発刊

・第 22 巻「聖公会 はじめの一步」 司祭市原信太郎著

・発刊準備中

西原廉太主教 : 「キリスト教と科学」(仮) (2022 年度の発行を延期)

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

2022 年度発行

VISION 177 号	2022 年 2 月発行	巻頭言	バルバ	田澤利之司祭
VISION 178 号	2022 年 4 月発行	巻頭言	ステパノ	越山哲也司祭
VISION 179 号	2022 年 7 月発行	巻頭言	マリア・グレイス	笹森田鶴主教
VISION 180 号	2022 年 10 月発行	巻頭言	マルコ	柴本孝夫司祭

◇編集方針

1 会員からの寄稿を増やし、参加感を高める努力をした。

具体的には、信仰や礼拝について日頃思っていること、会員として実践していること、コロナで仕事や生活はどう変わったか、BSA 本部への要望など、身近なことを通じて「会員の VISION」づくりに努力した。

2 理事会をはじめ BSA の諸活動を伝える情報を増やし、紙面の充実を図った。

3 連載物「シリーズ①～⑥宣教協働区・伝道教区制」を掲載した。

4. BSA 案内パンフレット 配布
 ・BSA への理解・会員勧誘に活用する改訂版「パンフレット」発行 (2022.10.)
5. ホームページの充実 <http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>
 「nkkk bsa」検索で閲覧することが出来る。
 ・掲載内容： BSA の歴史・組織概要・役員・支部一覧・活動
 信徒叢書一覧・セミナー案内・会員ハンドブック・直近 VISION
 総会資料 (報告、事業活動計画、会計収支予算)

6. BSA セミナー

- 開催日 : 10月8日(土) 13時からズーム方式で実施した。
 参加申込 : 73件、当日は68人が聴講した。
 三光教会、インマヌエル新生教会、横浜聖アンデレ教会、清里聖アン
 デレ教会、久留米聖公会では、教会に集まって聴講した。
 参加者のうち、およそ三分の一が BSA 会員外であった。
 テーマ : 「教えて！教区はどうなるの？」。
 教区再編成計画が進む中で、「自分たちの教区・教会はどうなるのか」
 という素朴な疑問に答えることを企図した。
 講師 : 管区総主事 エッサイ矢萩新一司祭。
 申込者には、事前にレジユメを送付して理解に資するようにした。
- ・今年のセミナーは、2019年以來3年ぶりの開催で、ZOOM方式を初めて採用。
 1週間前の同じ時間帯にリハーサルを行い、万全を期した。
 - ・主たるホスト会場は、管区事務所会議室を使用し、BSA本部事務所を電話対応
 用として用意。足立会長は、本部から挨拶した。
 - ・矢萩総主事は、年表や写真など各種のデータを駆使し、質問にも親切に答えるな
 ど、およそ一時間半の講演は好評であった。

II. 教育事業 :

1. BSA 青少年キャンプ (開催休止)
3. BSA 研修ツアー (開催休止)

III. 社会事業 :

3. 公益財団法人 KEEP 協会と協働した活動

- ◇ 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP 協会と協働して活動。
 - ・コロナ禍の中にあって大きな誤算が生じたキープ協会の収益事業を、機関紙
 VISION などを活用し、広くキープ協会の働きを広報して、特に清泉寮を中心
 とする各施設の利用を推奨する。
 - ・ジャージ牛ファンクラブに法人会員として入会

IV. その他事業：

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

コロナ禍の中、環境が整わず、支部との十分な一体化の活動が出来なかった。

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携を強化していく。

- ・1 年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行する。
- ・支部に属さない会員への対応を考え、実施する。

34	BSA 本部だより	2/14	12・1・2 月号
35	BSA 本部だより	3/7	2 月 (第 110 総会) 号
36	BSA 本部だより	6/6	4・5 月号
37	BSA 本部だより	7/15	6 月号
38	BSA 本部だより	8/22	7 月号

(2) 支部長会議 (未開催)

(3) 支部との懇談会の実施 (未開催)

4. 特別委員会

- ・BSA の課題を精査整理し、検討・協議。協議された内容は理事会に報告。
- ・2020 年 1 月以来 21 ヶ月中断を経て、2021 年 10 月に再開、9 回の委員会を開催し、BSA の取り組む課題の整理、絞り込み、具体的な精査・検討を行った。2022 年 11 月をもって委員会の任期を終え、理事会に対し検討結果を答申し、理事会はそれを引き継ぐこととした。

5. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進めている。
- ・アーカイブズ 基礎資料の収集 (写真・音声・印刷物など)

V. 総会、役員会

1. 総会

① 第 110 決算定時総会 2022 年 2 月 26 日 (土) 於：東京教区会館 3 階

報告： ①2021 年度 (2020.12.1.~2021.11.30.) 事業報告

議案： ①2021 年度 (2020.12.1.~2021.11.30.) 会計収支決算・剰余金処分
(案) 決議

②役員任期満了に伴い新たに役員 (理事 14 名・監事 2 名) 選任の件

選任された理事・監事 (50 音順)

理事：足立征三郎・尾崎茂雄・木島出・倉辻明男・桑田秋光・

後藤務・島崎敏彦・永井信行・野田徹・萩谷長生・松田正人

松平謙次・湯田啓一・吉松英美
監事：永井惇・早川潔

② 第 111 総会

2022年11月26日(土) 於：聖アンデレ主教座聖堂
議案：①2023年度(2022.12.1.~2023.11.30.)事業活動計画(案) 決議
②2023.年度(2022.12.1.~2023.11.30.)会計収支予算(案) 決議

2. 理事会

定例理事会を毎月1回開催し、定例とは別に複数回の理事会を開催している。

・第110総会終了後の理事会において、定款第21条2・3項により
会長・副会長を選任した。

会長 足立征三郎
副会長 尾崎茂雄, 木島 出

・理事会メンバーによるアッセンブリー開催(清里・清泉寮)

開催日程：10月11日(火)~12日(水)

課題：BSAの諸課題について

3. 評議員会 総会前に招集、開催される。

2022年1月29日(土)第1回評議員会

議案：① 理事候補者7名推薦の件

② 第110総会議案に対し

1号議案：2021年度会計収支決算(案)・余剰金処分(案)
承認の件

2号議案：役員任期満了に伴い新たに役員(理事14名、監
事2名)選任の件。

2022年11月26日(土)第2回評議員会

議案：① 第111総会議案に対し

1号議案：2023年度事業活動計画(案)承認の件

2号議案：2023年度会計収支予算(案)承認の件

以上

第1号議案

2023年度事業活動計画（案）

自：2022年12月1日 至：2023年11月30日

響きあう BSA のために

BSA の裾野を広げ、BSA の“顕在化”を図る

BSA の基本理念は「祈禱と奉仕」「一人が一人を」であり、み国拡張を目指すことに変わりなく、教会の働きの中で、会員一人ひとりが奉仕する集まりが土台となる。

BSA 活動の広がりと今後の発展を図るため、会員外の方々に参加を呼びかけ、BSA を身近に感じ、馴染んでいただく努力をする。教会に連なる一人となって、点から線、そして面に広げていきたい。

BSA 創立 100 周年までに 聖公会のすべての聖職・信徒への働きかけを強化し、BSA の“顕在化”を図る。BSA と聞けば、それが何であるのかを分かってもらえるようにしたい。

会員一人一人を大事にする運営

理事会等の動きを「本部だより」として支部長を通して会員に伝える仕組みは出来ている。本部と会員との回路が太くなり、そのことが BSA の一体感につながることを期待している。問題は、支部に属していない一般会員との一体感をどう高めるかである。会員あつての BSA であることを忘れてはならない。

BSA 創立 100 周年への取り組み 「気になる BSA」 を目指す

個別具体的な活動は、出来るだけ各年度の通常の事業活動計画の中で実施する。それによって限られたマンパワーを有効に活用する。また、この機会に既存の事業活動のスクラップ&ビルドを行い、事業活動の効率化と活性化を図る。

BSA が直面する課題にしっかり向き合い、100 周年を迎える 2027 年には、北から南までお互いの活動が「響きあう BSA」、周囲から見れば最近の BSA はこれまでと違って、「何か気になることをしている」といわれる BSA を目指す。

2023 年度は、これらを基本コンセプトとして、以下のような諸活動を展開していく。

- I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動
 - ① ボランティア活動（会員一人ひとりの日常活動及び支部活動）
 - ② 機関紙「VISION」、「BSA 信徒叢書」その他出版物の配布

